

小鹿野町政策審議会 会議録

発言者	会議の概要
総務課長	<p>1 開会</p> <p>それでは、第8回小鹿野町政策審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日の会議は、宮本委員、黒澤委員、萩原委員より欠席の連絡がありました。</p> <p>なお、本日の傍聴希望者は6名です。</p> <p>はじめに小松会長よりあいさつを申し上げます。</p>
小松会長	<p>2 あいさつ</p> <p>(会長あいさつ)</p>
総務課長	<p>続きまして、小鹿野町長 森真太郎よりあいさつを申し上げます。</p>
町長	<p>(町長あいさつ)</p>
総務課長	<p>次に議題に入りたいと思います。</p> <p>議長につきましては、小鹿野町政策審議会条例第6条の規定により、小松会長へお願いしたいと思います。</p> <p>小松会長よろしくお願いいいたします。</p>
小松会長	<p>3 議事</p> <p>それでは議長ということで議事を進行させていただきます。</p>
小松会長	<p>(1) 会議録署名委員の指名について</p> <p>議題(1)会議録署名委員の指名についてですが、こちらにつきましては山口委員、坂本委員を指名します。</p> <p>(はいの声あり)</p> <p>よろしくお願いたします。</p>
小松会長	<p>(2) 第7回会議録について</p> <p>次に、第7回会議録についてですが、開催通知と一緒に第7回会議録を送付しましたが、記載内容、誤字等がございましたら、ご指摘をお願いします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>これで第7回会議録を確定します。</p>
小松会長	<p>(3) 第1次答申に関する課題について</p> <p>次に、議題(3)第1次答申に関する課題についてということで、前回審議会において第1次答申を行いました。答申内容に関し課題等について意見交換を行いたと思います。</p> <p>最初に、事務局で栃木県の「ろまんちっく村」を視察したということですので、報告をお願いします。</p>
事務局	<p>昨年11月9日、宮林先生が会長の荒川ビジョン推進協議会の視察研修に、小鹿野町から石田産業振興課長と、私の2人で参加させていただき、栃木県宇都宮市のろまんちっく村に視察に行っていました。</p> <p>「道の駅うつのみやろまんちっく村」は、人と地域と豊かな里山にふれあう道の駅で、46ha(東京ドーム10個分)という広大な面積の中に、農産物直売所や森遊び、ドッグラン、温泉やプールに宿泊施設がある滞在体験型ファームパークです。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録

	<p>「ろまんちっく村」は平成8年から宇都宮市の農林公園として、第三セクターで運営されてきました。その時の入場者数は年間8万人くらいと説明を受けました。</p> <p>平成24年から、株式会社ファーマーズ・フォレストが指定管理者として供用を開始し、年間140万人の来園者を呼び込むようになりました。</p> <p>株式会社ファーマーズフォレストでは、生産者と消費者を結ぶハブとしての多面的な事業展開を行っており、栃木県の「地域商社」、地域経済活性化の中核拠点として、来るべき6次産業化社会を想定した、1. 農村空間価値の創造、2. 6次産業化地域社会の構築、3. モノ・コト両面の地域商社、4. 交流拠点を通じた地域経営といった、4方向の事業戦略ビジョンを掲げ、常に新たな連携と取組みを展開しておりました。</p> <p>4つの事業戦略の実施に向けた、主要事業としては農業事業、ブルワリー事業、地域プロデュース事業、交流型6次産業化拠点運営事業、着地型観光事業を実施しており、各事業の詳細につきましては資料をご確認いただくことで省略させていただきます。</p> <p>この「ろまんちっく村」の拠点は道の駅であり、地域活性化の拠点を目指す地域商社というところは、今回の政策審議会での議論に近いところがあり、非常に参考になりました。</p>
小松会長	<p>今の報告について、何かご意見、質問等がありますか。</p> <p>ないようですので、次にいきたいと思います。</p> <p>次に、町で第2次総合振興計画の策定を進めていますが、その説明をお願いします。</p>
総合政策課長	<p>本日お配りしました基本構想は、今後10年間のビジョンで基本的な方向性を定めるものでございます。基本構想につきましては1月15日から1箇月間パブリックコメントで住民の皆様からご意見をいただくということで実施しております。併せて今後5年間の前期基本計画の策定を進めさせていただいております。前期計画につきましてはかなり具体的な内容が盛り込まれてくると思いますが、政策審議会の第1次答申の内容をここで盛り込ませていただきます。内容につきましては担当より説明をさせます。</p>
総合政策課 担当	(資料に基づき説明)
小松会長	ありがとうございました。最初の視察の件も含め、ご意見等ありましたらお願いします。
山口委員	人口予測が9,000人と出ていますが、何か意味があるのですか。
総合政策課長	国の社会保障・人口問題研究所から人口推計がでております。2030年の推計が8,502人との推計がでておりまして、この8,502人を基に9,000人を下回らないということで考えました。
山口委員	国が設定している数値は根拠があるのですか。
総合政策課長	国は出生率とかにより将来人口を推計したのが、8,500人くらいということです。
山口委員	8,500人いれば街としての体裁が整うということですか。
総合政策課長	そういうことではなく、住んでいる人等を考慮して推計した数字です。
小松会長	その他ありますか。

小鹿野町政策審議会 会議録

	<p>なければ私からですが、この地域は少子高齢化が問題であります。高齢化率が20%とかであれば人口が8,500人であっても問題はないと思う。今私が推測すると高齢化率はとんでもない数字になるのではないかという感じがする。</p> <p>人口推移の表に高齢化率を入れてみていただけますか。</p>
総合政策課長	<p>高齢化率のお話がでたのですが、率は上がっています。高齢者数はほぼ同数であります。15歳から65歳の生産年齢人口が大幅に減ります。そこが減りますので、高齢化率は上昇していきます。</p>
小松会長	<p>年度別に高齢化率はどうなるのかと質問させていただいた。</p>
町長	<p>28ページに国の推計値が出ています。</p>
小松会長	<p>これで見ると高齢化率が概ね50%になるということですね。働く世代の人口が減ってくるのだから、そこを基本構想、基本計画に組み込んでいかないといけないのではないかと。過去10年間で町の人口推移は何人だったのか。そして、なぜ人口減少が加速したのか、それを生かさなければ新しい基本計画も生きてこないのではないかと。</p> <p>反省がなければプランだけ常に生きているのではないかと。基本構想、基本計画は経営計画なので、抽象的な計画ではこれから困難である。</p> <p>私の意見だが、小鹿野町には文化も商店街もない。物が買えない所に若い人は住まないと思う。小鹿野町では生活が完結しない。その辺の分析がまったくないと思う。</p> <p>合併後の10年間は投資が生きていない。人口分析は国に頼らず町独自で実施すべきではないかと。そうしないと同じことの繰り返しになってしまう。</p> <p>他に意見がありますか。</p>
吉田委員	<p>この話が出た時、これはコンサルがまとめるのですかということをお聞きしましたが、会長がおっしゃったように、ここまできた過去が10年、20年ある訳ですから、そこを分析しないと未来は見えてこないと思う。良い未来にもっていくためには反省が必要である。結果はどうなるか分からないが、そこはないといけない視点ではないかと。総合振興計画は行政的に作成しなくてはならないのかは、私には分かりませんが、過去の反省を踏まえ現在に至っている現状と、持続可能なまちづくりの分析が薄いのではないかと。将来は結果現時点では見えないので、可能性を探るという意味で計画を立てていると思うが、具体的な施策が見えてこない。行政と町民が協働で進めなければならないが、町民が動けないのではないかと。若手職員のプロジェクトの意見を盛り込んでもらいたい。バイクによるまち起し、ロジスタを実施しているが、そこへ参加してくる若い人がほとんどいない。何かを発案した場合、町民、職員の垣根を取り払っていかなくてはいけないと思う。横瀬町でLINEによる育児相談を始めたが、的を得た取り組みであると思う。総合振興計画を策定し、冊子を每户配布した場合、それを見て何か意見をいつてくる率は低いのではないかと。発行するために多額の予算を投じていると思うが、費用対効果が表れているか懸念が生じている。私は以前、業者として総合振興計画の発刊に携わったが、その時は効果があるか疑問に思った。今回第2次ですが、第1次がどれだけ検証されているか、大きな問題であると思うので、町としてどういう取り組みがこれから必要なかがないと、絵に描いた餅になってしまう。具体的な内容</p>

小鹿野町政策審議会 会議録

	<p>がないと、発刊しても意味をなさないのではないかと思う。町内でも小鹿野地区に移る人がいるので、さらには町内から都会の方へ移住すると考えるのは、これから益々強くなるのではないかと思う。これからは今までと同じことをしてはだめなので、新しい行政運営を考えていかないといけない。或いは民間とタイアップして経済の活性化をしていくような視点がないと意味がないのではないかと思う。計画には住民の協力が必要であり、若い人がどのように参画してもらうかが大切であると思う。</p>
小松会長	<p>資料の中に消滅する可能性があるとして書いてあるが、消滅する寸前の弱者だけが残った集落をどうしていくかが、小鹿野町にとっては大変重要であると思う。強い人は自分で移住できるが、残された人をどうしていくか。私は以前からコンパクトシティ化をし、商店街を活性化していかないと、若者は戻って来ないと思っている。こうした対応が今後10年の計画に入っていない。他の市町村と小鹿野町の現状は条件が悪い分だけ違うべきだと思う。小鹿野町は条件が悪いが、逆に捉えれば特徴を捉え良い面もあるので、特徴を生かした計画を考えていただきたい。</p> <p>その他ありますか。</p>
宮林委員	<p>今地方創生の会議があり計画を作っていると思いますが、ある程度数字を作り、それを点検していく方向に中心をもってきています。具体的な数値を入れて、具体的に事業の進捗状況を点検していくのが、今の計画の作り方です。だとすれば、17ページの4章のところの土地利用構想というのがでていますが、具体的に住民等の意見を聴いて今後10年間に、どこまで拡大するかというような考え方と同時に、各地域がどのように繋がっていくかのような構想から具体化をしていく。今日示されたのは構想だと思いますが、これを実施計画のようなもので具体的な数字を上げていかないと、なかなか見えてこない。今はそういう段階であると思う。政策の中心を探っていく。これは今までの作り方と似ているので、具体的なものがないとなかなか理解されないと思う。</p> <p>総合振興計画と政策審議会での意見が、なかなかリンクされていないように思える。この意見としては具体的なものが相当出ていると思う。まったく反映されていないと思う。そこがちょっと残念なので、計画と政策の意見をリンクさせることが必要となってくるのではないかと思う。その辺を整理していただくと良いと思います。</p> <p>これは防災の関係をきちっと入れないといけない。入ってはいますが、具体的に入れた方が良い。そこに政策の重点を置くことによってかなり使える。同時に仕事も出てくるので、そして工業にも使っていけば流れが出てくるので、その辺を視点として入れてみてはどうか。</p> <p>人を入れようとすれば今の交通条件ではだめなので、トンネルを抜くというようなことがあっても良いのではないか。そういう政策が入ると具体的な目標になるので、すぐ追い易くなると思う。</p>
町長	<p>この基本構想につきましては、網羅的にビジョンを示しているだけで、具体的な落とし込みは基本計画に具体的に書き込みを行う作業を進めています。その中に皆さんのご意見もかなり反映されていると思います。今日は皆さんにお示しできるまで作業が進んでおりません。具体的には予算化しかないとはいえません。それは議会の議決を経て、</p>

小鹿野町政策審議会 会議録

	<p>予算を具体的に投資する色分けをしていきたい。構想は相対的に書いておかないと次に繋がっていきませんので、そういった制約があることは理解をしていただきたい。</p> <p>第1次答申につきましても、予算に反映したいと考えております。</p>
小松会長	<p>審議会の意見は参考にしていただければ良いので、我々は決して押し込むということではありません。皆さんが意見の内容を吟味していただき、町の将来のためになるかを踏まえ、咀嚼していただければと思います。</p> <p>その他何かありますか。第1次答申の内容も踏まえ、意見質問等ありますか。</p> <p>先程事務局から説明のあった、ファーマーズフォレストは宮林委員も絡んでいるのですか。</p>
宮林委員	<p>絡んではいないです。</p> <p>今後森林環境税、入国、出国税を取っていくという方向が決まっておりますので、国交省はインバウンドと河川整備をどう進めていくかの議論はかなり進んでいますので、そこは意識していただいた方が良いと思います。</p> <p>最近の観光の場所は、SNSの評価によって化ける。ですので、この地域のポイントを幾つか決めて、来た人に評価してもらって、炎上すると一気にそこに何十万人と人が入ってきます。今後株式会社化して、運営していく上でそんなことをやってみてはどうかと思います。</p>
小松会長	<p>その他何かありますか。</p>
須崎委員	<p>最近お会いしたロシア出身で、小鹿野町へ移住してはちみつの酒を始めるという方が、小鹿野町はそれ程田舎ではなく、すごく便利であると言っていました。子育てに関しても保育園もあるし、すごく良かったと言っている。子育て世代の方が移住してきて、すごく良い傾向であると思います。在宅で仕事ができ、土日に秩父地域に来る方が、徐々に移住していただければ良いと思います。そういう人が起業して、空き店舗とかに入っただけであれば良い傾向だと思いました。</p>
町長	<p>その方ですが、今年の1月1日から地域おこし協力隊ということで委嘱しました。30代でミード酒を作り起業したいということで動いております。そういうことで事業化して、起業していきたいということですので、町も応援していきたいと思っています。ご主人はIT関連の会社員です。そういう方のネットワークも組んでいきたい。</p> <p>もう一点ですが、この前明治大学農学部の小田切さんという方が書いた論文を読みました。今の移住してくる若者は、町に雇用があるからではなく、自ら起業とか移業、携業と言っておりますが、地域にある古くからの仕事を新しい形で受け継ぐ、例えば秩父銘仙とかを新しい形で受け継ぎやっていく。もう一つが多業化で、いくつかの仕事を組み合わせて生活していく方もいらっしゃいます。4つのワードがキーワードになっていくと思います。</p>
小松会長	<p>小鹿野高校の募集状況はどうですか。</p>
教育長	<p>12月調査で69人です。昨年同時期よりはやや多いです。</p> <p>秩父高校が厳しい状況です。</p>
山口委員	<p>定員は何人ですか。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録

教育長	小鹿野高校が120人です。
小松会長	小鹿野高校が定員に満たないという事は、何か手を打たないといけないと感じを受けました。今井委員からも小鹿野高校を何とかすべきとの町民の声が多いという意見もありましたので、基本計画を含め、第1次答申の内容を具現化し、町民の付託に答えたい。株式会社は動きが早く、責任が追及できるメリットがある。 尾ノ内氷柱やダリヤ園は努力してやっている人がいる。横瀬町の氷柱は今では小鹿野より人が入っている。
山口委員	横瀬の氷柱は場所が良い。
町長	尾ノ内氷柱の駐車場整備を、秩父農林振興センターにも協力いただいて実施しているが、容量が足りない状況です。駐車場を整備できる用地も少ない。
山口委員	意外とないですね。
宮林委員	先程の地域おこし協力隊の方は、秩父地域を全部歩いている。その上でここだと決めたとする。便利さ、地形、気候等いろいろ考慮して決めたとする。 ここでの目標がミード酒を6トン作りたと言っている。
山口委員	私はここへ移住して15年経過するが、田舎暮らしには良い環境である。コンビニとインターネット環境があれば生活できる。鉄道がなくても車ができれば生活が可能であると思うが、移住者が少ないということは何か足りない。
宮林委員	若者が入るのは、教育の段階で育てると、起業が多いと思う。自分の持っているノウハウの受け皿がないと入ってこない。東京で移住のセンターがあるので、そこに小鹿野町が入っているか、いないかです。 高校も大学と連携し、プレミアが付けば集まってくるかもしれない。 地域を教育特区にすれば、国からのお金も入るし、大学との連携も図れば安定してくるのではないかと思う。
副町長	町では来年度に向けて予算編成をしているところです。政策審議会の第1次答申を受けて、振興公社を総合商社ということで提案をいただいて、それを進めるように事務を進めております。まず、振興公社の事務内容、課題等を洗い出しの指示を出しておまして、来年度に向けては人を張り付け、おもてなし課が担当になりますが、方向性を検討するよう指示を出しております。 もう一つ、町で県の神怡館をボルダリング施設に改修するというので、県に施設の譲渡、土地の無償借用等のお願いと、ボルダリング施設へ改修するための補助のお願いを、先日町長と県議で知事にお会いし、前向きな回答をいただいているところです。それも含め、総合商社に関わってきますので、進行状況等も政策審議会に報告させていただきたいと思っております。 担当課長より、今後の総合振興計画の基本計画等について報告をさせます。
総合政策課長	意見につきましては、前期基本計画5年というものがございまして、その中に具体的な内容として反映させていこうと考えていきたいと思っております。基本計画につきましては、次回の審議会にはお配りできるよう作業を進めておりますので、よろしくお願ひします。

小鹿野町政策審議会 会議録

小松会長	傍聴者の方で、まちづくりについてご意見のある方はおりますか。
傍聴者1	総合振興計画の基本構想につきまして、過去10年間は前町長が行っていたもので、それを引き継いだのでは、時代が違うと思う。町長が良く言っていますようにスクラップアンドビルドから始めなくてはいけないと思う。この基本構想を読んでも共感がない。 1人の町民を守れなければ12,000人の町民を守れないということだと思う。インターネットで広がってしまうと、すべてがだめになってしまう。今までは町民と職員の絆が切れていた。尾ノ内やダリヤ園も最初からうまくいっていなかったが、住民の方が熱心に取り組んだので今があると思う。秩父地域で観光客の取り合いをしている意気込みで取り組んでいただきたい。
小松会長	次の方どなたかおりますか。
傍聴者2	ろまんちっく村の報告をいただきましたが、数年前にNHKでろまんちっく村を特集していた。その時に直売所で働く方の意識改革を民間で行い大きく飛躍した。お客様本位の運営に換えたことが大きな成果であるとNHKの取材でも取り上げていたので、この辺の情報をもう少しいただければ良かったのではないかと。 人口問題ですが、横瀬町は不動産業者が業として成り立っているが、小鹿野町の物件には価値がないと言われる。若い人の住む住宅の供給がほとんど0に近いのではないかと。大胆な施策を行わないと負けてしまうのではないかと。
小松会長	その他どうですか。
傍聴者3	先程からお話が出ておりますが、過去のことは何もないですが、何かしっくりこないと感じています。町民と一緒に練り上げたものであれば、町民の意見が反映されると思う。そういうものがないので、なんとなく作文になってしまっている気がする。町民の生の声を聴いて議論してもらいたい。 もう一点ですが、委員から大学との連携の話が出ましたが、現在小鹿野町は立教大学の観光学部と連携しているようですが、そこから町の方にどのような声が上がっているのか。以前大正大学の学生と春祭りでお会いし、これから繋がりについて担当の先生にも伝えておきますとのことでした。もう少し話が進んだら町長にも話を伝え、執行部に入ってもらい話をしていきたいと思えます。
小松会長	ありがとうございました。 これは私の案ですが、折角宮林委員が川場村に携わっていますので、皆さんと見学に行きたいと思えますので、参加可能な方はぜひ参加していただきたい。 その他何かありますか。
吉田委員	先程地域おこし協力隊の方が、秩父地域を見て小鹿野町を選んでいただいたというお話がありましたが、先日他地域から小鹿野町にお嫁に来た女性の方と話をしたら、意見交換をする会があるということなので、小鹿野に何の魅力を感じたのかりサーチしてみるのも、今後の展開に向けて良い資料になるのではないかと。
町長	町の広報でも、移住者をピックアップしてインタビュー形式で掲載していますので、ぜひご紹介をしていただければと思いますし、私も意見交換をしていきたい。
小松会長	その他について、事務局より何かありますか。

小鹿野町政策審議会 会議録

事務局	視察のお話が出ましたので、2月に視察日程を調整させていただきます。 次回の審議会日程は3月27日午後2時からお願いいたします。
小松会長	その他にご意見等ありますか。 ないようですので、本日の議題については終了しましたので、議長の座をおろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
総務課長	会長大変ありがとうございました。 以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。 大変ありがとうございました。